

仏果山ハイキング

2005年11月6日(日)「仏果山ハイキング」に行きました。加藤忠さんから「宮ヶ瀬あたりに仏果山という素晴らしい山があるそうなので是非行きたい」とリクエストがあり、計画しました。仏果山は、丹沢の東端に位置し、丹沢山塊の中では比較的手ごろな山として人気があるようです。かつて(10年くらい前)、町田が、ウルトラマラソンに挑んでいるころ、練習のため、仏果山から経ガ岳を走ったことがありました。記憶にあるのは、降りたバス停が“燃糸組合前”だということ。なぜなら、なんて読むのかわからなかったから。それと、仏果山の山頂に展望台があったことくらいです。ということで、走って登ったくらいだからたいした山ではないだろうと考えていました。

さて、実際に登り始めると、けっこうきついのです。この山を走って登ったなんて信じられない!「この山は初級レベルですね」という桜井さんが山登りを始めたのが10年くらい前になります。その時は、下りが怖くて足を踏み出せず、腰が引けていたのですが...。“10年は一昔”とはよく言ったものですネ。ところで、初めて山に登るという向山さんは大丈夫?

それでも、下山してしまえば、みんな涼しい顔で「いい山だった」と言い放つところが素晴らしいところかな。本格的な雨に降られたのは帰りのバスの中だけだったというのは本当にラッキーでした。



小野さんはカナダ、揖斐さんは雨？

朝9時、横浜線淵野辺駅に集まったのは、桜井さん、加藤夫妻、宮部夫妻、向山さん、町田の7名でした。いつも、必ず参加する小野さんは、奥さんとカナダ旅行中です。小野さんの不参加は、2002年12月の「二十六夜山ハイキング」以来のこと。向山さんは、前回の「東海道 丸子から宇津ノ谷峠」に続いて2度目の参加ですが、山登りは初めてです。今回のハイキングに備えて、帽子、ウェア、シューズ、そして、杖まで一式を買い揃えての参加です。全体を茶色でまとめたコーディネートがまっています。が、問題は中身ということ...？加藤さんの情報によると、揖斐さんは、前日まで参加する予定でいたそうですが、出かける間に雨が降り出したので、参加を見合わせたそうです。天気予報では、昼過ぎから雨が降り出し、夜には本格的に降るということですが、誰も雨は見ていません。たとえ降ったとしても、仏果山は丹沢の中では、747.1メートルと比較的低い山(有名な大山が1251メートル)ですし、小田急線の「丹沢・大山フリーパス」のパンフレットに紹介されているくらいですから(一応、本格的となっていますが)危険はないと思います。

9時25分、淵野辺駅南口から半原行のバスに乗って出発です。地元なだけに、バスで登山口まで行くというのは、ちょっと不思議な面白さがあります。上溝駅に立ち寄り、相模川を高田橋で渡り、中津川沿いにバスは走り、終点半原の手前、「燃系組合前」で下車します。淵野辺駅から約50分、料金は540円でした。



老人用の杖

バス停横の神社の脇を流れる沢沿いに登山口を目指して歩き始めました。昔懐かしい雰囲気漂う民家の中の細い道をのんびりと。交通量の多い広い新しい道は、はるか頭上を通り、交差することはありません。しかし、こうして、下のほうにある村は、ダムの中に埋もれてしまうのか...？と思ってしまいます。宮ヶ瀬ダムに向かっていただけに...。穏やかに歩くこと約30分、車止めが現れ、その先が高取山、仏果山は、左の階段を上るように標識が出ていました。ここが、「登山口」です。向山さんは、ここで折りたたみ式の杖を取り出して準備します。ところが、ハイキング用のストックを持っている加藤さん、宮部さんから「それは、老人用の杖よ」と指摘されていました。「いったいどこが違うの？」とよく見ると、ハイキング用のものは、地面に着く先端にスプリングが入っていてショックを和らげてくれるのですが、向山さんのものはそうなっていません。「なるほどね」でも、ストックを忘れた時には、木の枝を拾って使っているくらいですから、ないよりは楽になるはず。特に下りは。

丹沢では初級かも...？

11時、いよいよ山登りの始まりです。階段を上り、頭上を入っていた広い道路を見下ろしたところで山道は右に曲がります。途端に薄暗くなり、勾配がだんだんときつくなっていきます。だいが前に設置されたと思われる不揃いの木段があるので、そ





れを着実に踏んで登って行けば危険はありません。向山さんは、「いやぁきついきつい」と言いながらも遅れることなく、むしろせっせと登って行きます。“そんなにがんばっちゃうと後が心配だけど...”途中で鹿避けの金網の柵を抜けて、登ること20分、林道に出たところで休憩します。「山頂？」「まだまだ、これから」この山の中腹からの眺めも悪くはなく、しばらくのんびりしてしまいました。

林道を横切ったところに、“仏果山”の標識があり、コンクリートの階段を上って再び、山の中へ入って行きます。勾配は相変わらず急で木段が設けられています。あまりくねくねすることなく、直進に近いかたちで山頂へ向かっているような感じです。木段がなく、なだらかな登りの部分はきっと少し斜めに進路を変えている場所なのでしょう。上り下りを繰り返しながら登るのではなく、ひたすら上り上り。“本当にここを走って登ったのか？”と、町田は自分を疑いたくなります。「思ったよりきつい山だねえ」などと話していると、この10年でいくつもの厳しい山を制覇している桜井さんは「でも、この程度なら初級ですよ」「...」確かに、危険な場所はほとんどなく、丁寧に木段も設置されているので、そういう意味では初級なのですが、体力的な見方をすると誰でも登れる山ではないかもしれません。中級ですね。きついきついと登っている山は“初級”と言われ、途中で会った犬の散歩中の夫婦に「仏果山はこれからが大変ですよ」と言われ、向山さんの胸中はいかに？でも、口で言うほど身体はなまっちはいいようで、桜井さんを除く誰にも引けと取りません。



冬の山頂は要注意！

正午を過ぎ、空が低くなり、いよいよ山頂かと思ったところがひとつ目のピークで、仏果山は、そこから少し下った先に高くそびえていました。“これからが大変”という犬の散歩の夫婦の言葉がよみがえりました。

“まさか岩のくさり場？”覚悟を決めて、仕方なく登って行くと、今までと同様、木段がある急な直線の道で、それも10分ほどでした。

12時20分、山頂に到着しました。展望台がありましたが、誰も昇ろうとしません。テーブルとベンチを確保して、とにかく昼食です。冬は、山頂でゆっくりしているとアツと言う間に身体が冷えてしまいます。着替えるなり、上着を羽織るなりして、身体を冷やさないように。ガスを使ってお湯を沸かしたり、ポットに暖かい飲み物を用意するといいと思います。また、軽くて乾きやすいフリース・ジャケット、手袋、帽子も効果的です。食事を終えて、展望台に昇ると丹沢の山々、そしてこれから下っていく宮ヶ瀬ダムが見渡せる素晴らしい展望が楽しめました。





どっちが楽かなあ？

13時過ぎ、記念撮影をして出発です。仏果山からの下りは、左の経ヶ岳へ向かう半原越と右の高取山への宮ヶ瀬越に分かれます。今回のハイキングを計画した時は、経ヶ岳にも登ろうと考えていたのですが、“歩行時間が4時間30分ではつらいのでは”とやめて、宮ヶ瀬越で下山することにしました。いきなり急降下のくさり場が現れ驚きましたが、それはほんのわずか、



傾斜は次第に緩やかになっていきます。計算では、下る時間は1時間ちょっと、上りのイメージから想像すると“あとは下るだけ”だったのですが…。足元に注意しながら“こっちから上るほうが楽かなあ？”（下りでは大抵こんなことを考えます）すると、上り斜面が出てきてビックリ！頭の中に“沼津アルプスと高柄山”が。しかし、いくつかの上りはちょっとコブを越える程度のもので、順調に下って行きました。



下っても下っても下り

13時30分、高取山との分岐を左へ宮ヶ瀬ダム方向に向かいます。“あと30分くらいか”ここからは、ひたすら下りが続きます。が、予定時間を過ぎてても下界が確認できません。でも、道に迷ったということはなく、パンフレットの歩行時間を疑いつつ下って行きます。すると、上の方で音がして、初めそれは、風の音かと思ったのですが、心配していた雨が降り出したのです。でも、木々に守られて、雨を身体で感じることはほとんどないまま、無事下山することができました。

14時25分、山道が終わったところが仏果山登山口バス停で、道路の向こうには、宮ヶ瀬ダムが広がっていました。バスは、1時間に1本しかなく、14時台は54分でした。30分もあるのですが、お店（酒屋）などがある雰囲気ではないことは察知できました。おとなしく、じっとバスを待つしかありません。「きつかったねえ」「でも、いい山だったねえ」本厚木駅へ向かうバスに乗り、しばらくすると雨は本降りとなりました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
向山三郎	194-0204	東京都町田市小山田桜台 1-735-2 042-797-4329

